

## 平成 27 年度第 1 回尾張旭市健康推進委員会 議事録〔要旨〕

### 【開催日時】

平成 28 年 2 月 12 日（金）

開会 午後 1 時 30 分

閉会 午後 2 時 50 分

### 【開催場所】

尾張旭市保健福祉センター 2 階 201・202 会議室

### 【出席委員：11 名】

安井 徹郎（瀬戸旭医師会）

加藤 富士子（尾張旭市薬剤師会）

横山 多佳子（旭労災病院）

伊藤 浩一（公立陶生病院）

坂本 真理子（愛知医科大学）

水野 東光（尾張旭市自治連合協議会）

裕原 圭子（尾張旭市地域婦人団体連絡協議会）

吉田 与十六（尾張旭市体育協会）

長谷川せつ子（尾張旭市健康づくり食生活改善協議会）

高橋 史恵（愛知県健康づくりリーダー連絡協議会瀬戸支部）

岡田 多美子（公募委員）

### 【欠席委員：2 名】

柴田 浩二（尾張旭市歯科医師会）

田口 良子（瀬戸保健所）

### 【傍聴者】

なし

### 【出席した事務局職員】

若杉健康福祉部長、森健康福祉部次長、竹内健康課長、清水健康課長補佐、加藤健康課健康係長、磯村健康課副主幹（健康都市推進室）三浦健康都市推進係長

### 【議題】

- (1) 尾張旭市健康都市づくりの取組について（健康都市推進室）
- (2) 平成 27 年度保健事業の概要報告について

## 【会議の概要】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 委員長、副委員長の選出
- 5 議題
- 6 その他

### 1 開会

＜欠席委員の確認、会議の公開についての報告、会議資料についての確認等＞

### 2 あいさつ

### 3 自己紹介

### 4 委員長、副委員長の選出

＜委員長に安井徹郎委員、副委員長に柴田浩二委員が決定＞

### 5 議題

#### (1) 尾張旭市健康都市づくりの取組について（健康都市推進室）

＜市健康都市推進室より資料に基づき説明＞

##### (A委員)

自分も尾張旭市の住民である。健康都市ブランドといった強みは何となく分かるのであるが、県外や国外での活動は見えてきても、もっと市民へのPRが必要なのではと思う。内に向けたインパクトがないのでは。

##### (事務局)

市内でも様々なイベント等でPR活動はしているが、確かにPR不足は否めないのが課題である。市民の皆さんが地域で活発に活動している催しも多々あると思うので、これらをどんどん“健康”に結び付けていけないかと考えている。

##### (B委員)

地元では筋トレ体操を活発に行っている。旭丘校区は健康意識が高いと思っているが、実際のところ一般の市民がどこまで健康都市を理解しているのかは疑問。例えば市共通の健康体操など作ってはどうか。

##### (事務局)

10年前ぐらいになるが、本市が健康都市連合に加盟したときには、市職員で集まりいろいろアイデアを出し合ったことがある。まだ決まった話ではないが、加盟から10年を経過した今、再度また集まる機会を設けて、この中でいろいろ話し合いができればとも思っている。またいろいろとアイデアをいただければありがたい。

##### (B委員)

最近は小学校でもラジオ体操をやらないところもあると聞く。旭丘校区の話であるが、地元、ふるさとを主眼とした校区独自の体操がつかれないかと委員会を作った。曲や振り付けなどオリジナルの体操を今年10月頃をめどにして頑張っている。

##### (C委員)

尾張旭市にオリジナルの体操が全く無いかと言うとそうではない。例えば社会福祉協議会さんの「わいY体操」、市のイメージソング「マイシティ」に合わせたオリジナル体操、いろいろあると思う。こうした既存の体操にも目を向けうまく使っていけないものだろうか。

##### (事務局)

らくらく筋トレ体操にあっては10周年を迎えた。この活動の中でも先のマイシティの曲に合わ

せた体操や、県立大学のつばめ体操などをやっている。各団体さんではそれぞれ個別にオリジナルの体操が活発にあるのだが、確かに市全体で統一的な体操というのは無いのか。市では健康課以外に今日来ている健康都市推進室がある。これからまた検討する機会もあるようなので、また皆さんのご意見を伺いながら進めていきたい。

らくらく筋トレDVDも旭丘連合自治会の協力をいただいて作成できた。健康課保健師の出前講座「出張らくらく筋トレ体操」もあるので、ぜひご利用いただきたい。

(D委員)

私は市の健康づくり推進員もやっているが、らくらく筋トレグループは市内に現在 52 グループ。今度、県の大会でもマイシティーの体操やつばめ体操を披露することになっている。

(E委員)

各団体さんでの活動は本当にいろいろある。せつかくの財産。宝の持ち腐れにならないよう、やはりもっとPRして、ぜひ皆さんに参加してもらいたいと思う。

## (2) 平成27年度保健事業の概要報告について

<事務局(健康課)より資料に基づき説明>

(F委員)

らくらく筋トレグループの活動人数が1,296人との話があった。かなりの人数ですが、地元南原山町での認識が薄いのはなぜだろうか。ぜひもっと広めていただきたい。最近市庁舎でロビーコンサートを見た。多少の音出しもできるのであれば、ロビーでのPRなどすごく効果があるのではないかと。活発度合いに地域差があるのも課題かと思う。

(事務局)

こうして改めて皆さんの声を聞くと、確かに地域差もあると思う。課題として認識したい。広がりを進めるためには、広報のような紙媒体は有効ではなく、口コミや自治会など地域を単位とした盛り上がりが必要であろうか。

一度に多くの人を呼びたい思いはあるが、会場の問題や指導者の人数確保も課題。年に何か所か地域を絞り、集中して活動するのも一つの方法かと思う。

(B委員)

旭丘ではふれあいスポーツ事業ということで、「わっはっは体操」の呼びかけをしたところ、200人も参加者があった。参加したくてもどこに聞いたらよいのかよくわかるようにしたら良い。

(A委員)

先の説明で「ネットDE元気まる」のことが気になった。参考に、最近のアクセス数や増加減少傾向など知りたい。また「ネットDE元気まる」からその先何かつなげているか。

(事務局)

平成26年度のアクセス数は年間約150件。年間約150件程度で推移していると思う。

判定の結果をもとに必要な相談先を案内している。関連施設や関連事業の案内にリンクをさせて情報が得られるようにしている。

(A委員)

最近ネットでも比較的簡単な仕組みで集計ができたりする。また設問の最後にアンケート項目を設けたりするのも良いかと思う。また検討してみてもどうだろうか。

## 6 その他

閉会